

## I 『青鞆』と女学校

近代の女子教育は、良妻賢母の考え方に基づいたものでした。国語や数学のほかには道徳や裁縫などが重視されました。教育のなかで女性たちは古典や文学に親しみ、作文や詩などで自らの思いを表現する方法を身につけました。青鞆社を結成し、『青鞆』を創刊した平塚らいてう、保持研、中野初、木内錠、物集和も、それぞれ女子大学や高等女学校を卒業した近代の女子教育を受けた女性たちでした。



### 平塚らいてう 『円窓より』

1913(大正2)年5月、東雲堂書店より発行されたらいてうの初の評論集。奥付の署名は本名の平塚明となっている。『青鞆』創刊号に発表した「元始女性は太陽であったー『青鞆』発刊に際してー」が収録されている。発行と同時に、「家族制度を破壊す」などを理由に発売禁止処分となった。

### 『青鞆』創刊号 (大阪府立中央図書館蔵)

1911(明治44)年9月に平塚らいてうら5人の若い女性によって創刊された雑誌。表紙絵は日本女子大学を卒業後、洋画家として活躍していた長沼智恵(のちに高村光太郎と結婚し『智恵子抄』の主人公となった女性)による。創刊号には、与謝野晶子の「そぞろごと」が掲載され、「山の動く日来る」と女性の覚醒が唱われた。



## II 『青鞆』と「新しい女」

『青鞆』創刊と同時期、歌人や画家、作家など社会で活躍する女性を表す「新しい女」ということが新聞や雑誌に登場しました。『青鞆』への社会の注目と批判のなかで、「新しい女」は、次第に『青鞆』に集う女性を非難することばへと変化していきました。しかし、平塚らいてうたちは『青鞆』で「新しい女」特集を組むなど、「新しい女」として主体的に生きていきました。

## III 『青鞆』の主張と論争

女性による女性のための雑誌として始まった『青鞆』では、恋愛や結婚、性をテーマとした小説や詩が多く掲載されました。そして、『青鞆』を中心に貞操、墮胎、廃娼問題など女性の生と性についての論争がくり広げられ、社会に大きな影響を与えます。『青鞆』無期限休刊後も、平塚らいてう、与謝野晶子、山田わか、山川菊栄による母性保護論争が展開されたり、婦人参政権運動がおこるなど女性の性と生に関わる活動が続けられました。



### 『女・エロス』

1973(昭和48)年に創刊された女性による女性のための雑誌。巻頭で「今、ここに、わたしたちは何ものにも規定されない女であることを宣言する」と「女」であることにこだわり、女性として主体的に生きることを宣言した。

## IV 現代の「新しい女」たち

戦後、社会のあり方が大きく変化し、女性の権利も認められるようになりました。しかし、70年代のウーマン・リブをはじめとして女性が主体的に生きるための運動は続けられています。女性の生き方、性のあり方を規定する社会の仕組みや制度を見直し、女性自身が主体的に生きることを目指したウーマン・リブは、まさに現代の「新しい女」たちの登場でした。『青鞆』に集った女性たちの主張は、現在も引き継がれています。

### 関連イベント

#### ■ シンポジウム「青鞆とフェミニズム」

9月17日(土) 14:00～

講師:米田佐代子(NPO法人 平塚らいてうの会 会長)

#### ■ 女性の生と性を考える連続セミナー

10月1日(土) 14:00～「シングルマザーと労働問題」

10月8日(土) 14:00～「女性のライフスタイルと家族」

10月22日(土) 14:00～「生と性の自己決定」

#### ■ 学芸員セミナー

9月10日(土) 14:00～「女学校と乙女文化」

## ◆ 学芸員のおススメコレクション ◆

### 大阪文化財研究所 佐賀藩蔵屋敷出土の鍋島焼

鍋島焼とは、江戸時代に将軍家への献上を主な目的とし、佐賀藩藩主の鍋島家が採算を度外視して作った当時の最高峰の磁器です。贈答を目的とした器であるため一般に流通することはなく、発掘調査で見つかることも極めてまれです。昨年度、北区西天満の佐賀藩蔵屋敷跡の発掘調査で、大阪市内では初めて、隆盛期(1690～1740年頃)を中心とする鍋島焼が出土しました。参勤交代で滞在する藩主のため、蔵屋敷に置かれていたと考えられます。

原料となる陶石やコバルト、そして成形、絵付け、焼成に至るまですべてにわたりこだわり抜かれた陶技の粋をご堪能下さい。(大阪文化財研究所学芸員 市川創)

※今回紹介した鍋島焼は、大阪歴史博物館特集展示「新発見! なにわの考古学 2011」にて

10月3日(月)まで展示中です。(大阪歴史博物館へのアクセスは、地下鉄「谷町四丁目」9号出口前

TEL 06-6946-5728 FAX 06-6946-2662 ホームページ <http://www.mus-his.city.osaka.jp/>)

大阪文化財研究所 所在地 〒540-0006 大阪市中央区法円坂1-1-35 アネックスパル法円坂6F

TEL 06-6943-6833 FAX 06-6920-2272 ホームページ <http://www.occpa.or.jp/>